

2024年7月18日

フランス預金供託公庫が発行する
「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」への投資について
～五輪開催を通じた持続的な地域経済発展を支援する世界初の債券～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、フランス預金供託公庫（正式名称：Caisse des Dépôts et Consignations、以下「CDC」）が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドに1億豪ドル（約108億円）を投資しましたのでお知らせします。五輪開催を通じた持続的な地域経済発展を支援する世界初の債券として、当社単独で投資を実行しました。

本年、フランス共和国においてパリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「本大会」）の開催が予定されており、同国の公的金融機関として公共政策推進を担うCDCは、本大会開催に際して長期的な投融資活動を行なっています。

本債券によって調達された資金は、本大会の選手村やパビリオン等、大会インフラ建設のリファイナンスなどに充当されるほか、閉幕後には本大会で使用したインフラ設備を、住宅やオフィスのほか、学校や自然公園等の公共施設へと生まれ変わらせることに活用されます。このような取組みにより、地域に新しい都市空間を創り出すとともに、雇用機会の創出や地域コミュニティの活性化など、本大会をレガシーとして引き継いでいくことで、持続的な地域経済の発展に貢献することが期待されます。

当社はこれまで、「Jリーグ」や「日本女子プロゴルフ協会（JLPGA）」などと協働で、スポーツイベントを通じて地域コミュニティにおける人々の交流を促進し、地方創生を推進してきました。今回、本債券への投資により、本大会の開催を通じて持続的な地域経済の活性化に貢献するCDCの取組みを資金面からサポートします。


当社は責任ある機関投資家として、ESG投融資を通じたグローバルな環境・社会課題の解決、地域経済活性化等により社会的価値を創出し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【ご照会先】
広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

明治安田生命保険相互会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1



【本債券の概要】

発行体	フランス預金供託公庫（CDC）
債券の購入額	1億豪ドル（約108億円）
払込期日	2024年7月18日
償還期限	2039年7月19日
対応するSDGs目標	

【CDCの関連プロジェクト事例】^{（注1）}

■サン＝トゥアン

パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会 選手村開発プロジェクト

パリ郊外にあるサン＝トゥアン地区に敷地面積48,000 m²、3,000人を収容する選手村の開発を本大会のオフィシャルパートナー^{（注2）}であるCDCグループが主導します。3,000 m²規模の緑地計画、低炭素化開発目標等を通じて、環境に配慮した街づくりを推進します。

また、本大会閉幕後、選手村の一部はソーシャル・ハウジングや学生寮等に転用されることで地域コミュニティの活性化などに貢献することが期待されます。



（注1）CDCのプロジェクトの一例であり、本債券による資金の活用を上記プロジェクトまたはその分野に限定するものではありません

（注2）本大会のオフィシャルパートナーについては、下記リンクをご参照ください

[Partners of the organization committee of Paris 2024 \(olympics.com\)](https://olympics.com/partners-of-the-organization-committee-of-paris-2024)

以上